

8日

事故や犯罪に注意 交通安全・防犯町民集会

町と町交通安全推進委員会、町交通安全協会、町防犯協会による『平成28年度交通安全・防犯町民集会』が総合福祉センターで行われ、自治会や事業所、関係団体などから約70人が参加しました。

集会では、苫小牧警察署員から高齢者の事故防止についてや巧妙化している振り込め詐欺などの特殊詐欺の手口、被害防止策などについての講話があり、歳末に向けた交通事故防止や犯罪被害防止を訴えていました。



高齢者の交通事故について話す
苫小牧警察署員

9日

いざという時のために！ 豊川自主防災組織がHUGを実施

豊川地区で平成26年12月に結成された豊川自主防災組織(佐々木建治代表)が厚真町版HUG(避難所運営ゲーム)を使った防災の研修会を豊川生活会館で実施しました。

この研修会は同地区に住み、道地域防災マスターである阿部清一さん(67歳)の提案により初開催。参加者からは「災害に備え日頃からできることを把握したり、近所の交流が大切だと感じた」などの感想が出ていました。



厚真町版HUGを進める阿部さん(右)

15日

種部健一さん(豊丘)が 森林づくりコンクールで優秀賞に

平成28年度ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール(カラマツ部門)で、種部健一さん(豊丘・68歳)が優秀賞を受賞。胆振総合振興局の大堀尚己森林室長が役場を訪れ、種部さんに表彰状を伝達しました。

種部さんは農業の傍ら、カラマツ林の育成をはじめ、農家林業家の後継者育成に積極的に取り組んでいます。種部さんは「もっと山の魅力を伝え、関心を持ってほしい」と抱負を述べていました。



賞状を手にする種部さん

19日

兼本海音さん(厚南中3年生)が 社会を明るくする運動の作文で入賞

法務省主催の第66回社会を明るくする運動札幌地方推進委員会の作文コンテストで、厚南中学校3年生の兼本海音さん(15歳)が優秀賞を受賞し、厚南中学校校長室で苫小牧地区保護司会の中澤正之会長から表彰状が伝達されました。札幌管内1,797点の応募の中から選出。

兼本さんは部活動で左足のじん帯を損傷し、松葉づえを使った生活を通して身近なバリアフリーを考えるようになりました。「今ある社会の制度を知ってもらっかけになれば」と感想を述べていました。



賞状と記念品を受け取る兼本さん(右)

1日

ムダなくエコ 歳末チャリティ即売会

町コミュニティ運動推進協議会(山下昌秀会長)の「歳末チャリティ即売会」が、総合福祉センターで行われました。会場には町民から寄付された衣類や小物、食器など約1,200点が並べられ、来場者は気に入った商品の一つひとつ手に取りながら品定めをしていました。

山下会長は「今年は昨年を超える出品や来場者となりました。例年同様多くの収益を寄付することができ感謝しています」と話していました。

この日の売り上げ45,251円は北海道共同募金会に全額寄附されました。



掘り出し物に出会うかも

1日

年の瀬に笑顔満開 恒例のチャリティ演芸大会

年末恒例の町婦人団体協議会(藤本昭子会長)による「第40回歳末助け合いチャリティ演芸大会」が総合福祉センターで行われ、多くの来場者がステージを楽しみました。

今年は約20組の個人やサークル、団体などが歌や踊りなどを披露し、会場から声援と拍手を受けていました。このイベントの益金は、厚真町社会福祉協議会に寄付されました。



あゆみ会が日本舞踊を披露

1日

岩倉建設株式会社に 町観光協会が感謝状を贈呈

町観光協会(池川徹会長)主催の田んぼのオーナー事業で現地駐車場の使用と交通整理を行った岩倉建設株式会社(宮崎英樹代表取締役社長)に町観光協会が感謝状を贈呈しました。

観光協会池川徹会長から感謝状を受け取った同社の大田利宏常務取締役は「地域のお役に立てて嬉しいです」と感想を述べていました。



感謝状を受け取る大田常務取締役(左)

2日

本場のお笑いを堪能 爆笑師走あつま寄席

町教育委員会主催の「爆笑師走あつま寄席」が総合福祉センターで開催され、落語家の桂きん枝さん、桂勢朝さん、桂佐ん吉さんが落語を披露しました。

笑いの本場である関西の上方落語の話芸に、会場は大きな笑い声に包まれていました。



来場者も参加しての上方落語入門講座